

所属	文学部	職名	教授	氏名	下西 忠	大学院の授業担当の有無 (有)
教育活動						
教育上の主な業績		年月日	概 要			
1. 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)		2002～2009 (平成14年-平成21年)	<p>課題演習(卒論指導)は毎時間情報処理室でコンピュータを使用しながら指導している。また授業全体を通して「わかる」授業を試みている。そのため副教材も使用している。</p> <p>学生による授業評価(FD委員会)の第一回目は単純平均は4,5(五段階評価)であった。ただ二回目は4,2で下がっている。とくに板書の項目の下がりかたが大きかった。二回を通して一番評価が高かった項目は教員の熱意の項目(4,9と4,8)であった。</p>			
2. 作成した教科書、 教材、参考書		2000. 3 (平成12年3月)	①『敬語の使い方とその本質』(講義名は「国文法」)1年間敬語に絞って敬語の使い方(正しい使い方、誤用を実際の用例に則して詳述したもの。古典の作品の中から敬語のおもしろい用例とか、現代文からの誤用の例などを学生に実践体得してもらうために問題形式に作成している。(B4、39枚)			
		2001. 3 (平成13年3月)	②『浦島説話の展開』(講義名は「講読演習」)浦島説話(伝承も含む)の文献を網羅し、それが時代的にどのように展開していったかをワークブックの形態をとったものに(B5、42枚、現地で調査した写真含む)			
		2003. 4 (平成15年4月)	③『国文学史』(講義名は右と同じ)古典文学・近現代文学史を略述したもの(A4、154枚)できるだけ作品の原文を鑑賞させるべく高野山にかかる文献を多く紹介しようとしている。			
		2004. 3 (平成16年3月)	④『遍路学』(大学院通信教育テキスト)第四章の「遍路学の諸相」のなかで、西行の四国遍歴を担当する。203～234頁			
		2006. 3 (平成18年3月)	「日本語」(専任教員4名との共同執筆)			
		2008. 3	『密教と説話文学』(大学院通信教育テキスト)			
3. 教育方法・教育実践 に関する発表、講演等		2005. 11 (平成17年11月)	香川県の国語科の教員研修会における講演。講演は、国語教材に関する鑑賞の仕方について参加人数は県立・私立ふくめて現任教員約60名 於 香川県立高松東高校			

<p>4. その他教育活動上 特記すべき事項</p>	<p>1993～ 現在に至る (平成5年～現在) 2001～2007 (平成13年-平成19年) 2004～ 現在にいたる (平成16年～現在) 2006～2010 (平成18年-平成22年)</p>	<p>龍谷大学（文学部）に非常勤講師として出講。 (講座名は「仏教文学」)</p> <p>高大連携として本学の併設校の高野山高校に出講している。特に留学生コースの生徒のため古典の読み方を教授している。</p> <p>高大連携として本学の併設校の高野山高校に出講している。京大コースで古文の授業を担当</p> <p>和歌山県立伊都高校 連携授業</p>
--------------------------------	---	---